

日本説得交渉学会会報

THE JAPANESE SOCIETY OF PERSUASION AND NEGOTIATION



目次

日本説得交渉学会 第13回研究大会実施報告

大会実行委員長
田村次朗
(慶應義塾大学)

大会に参加して
増田尚之
(モルゲンロット株式会社
説得交渉学会主任研究員)

研究室紹介
深谷信介
(ノートルダム清心
女子大学)

理事会議事報告

学会賞

説得交渉学研究第13巻

日本説得交渉学会第14回研究大会 実施報告

大会実行委員長 田村 次朗 (慶應義塾大学法学部教授)

今年度も引き続きコロナ禍において、学会活動は全てオンライン開催となりました。顔を合わせた交流こそありませんが、7月のフォーラム、11月の研究大会ともに、学会の目指すアカデミズムと実務の融合を体現する、非常に中身の濃い実りある活動となりました。

来年度も私が研究大会委員長を務めさせていただきますが、状況が落ち着き次第、対面での実施も行いたいと考えております。

例年、同日開催されていた理事会と研究大会ですが、今年度は理事会を大会の前週に行い、大会当日は、冒頭で総会を行いました。総会では報告事項・審議事項について満場一致でご承認頂きました。誠にありがとうございました。

◆研究発表 10:30~11:10

下村 正樹 (名古屋大学未来社会創造機構客員教授)

深谷 信介 (ノートルダム清心女子大学人間生活学部教授・名古屋大学未来社会創造機構特任教授)

「富山市におけるコンパクトシティ政策の成功要因分析 森雅志前市長が発揮したリーダーシップの考察」

◆パネルトーク 11:30~12:15

「組織におけるダイバーシティは本当に実現されているのか？」

・パネリスト：石原 直子 (リクルートワークス研究所人事研究センター所長・主幹研究員)

・パネリスト：藤原 かおり (キュービー株式会社上席執行役員・新規市場開発担当)

・モデレーター：田村 次朗 (日本説得交渉学会会長・慶應義塾大学法学部教授)

大会に参加して

増田尚之 (モルゲンロット株式会社/交渉学協会主任研究員)

大学時代の恩師である田村先生より説得交渉フォーラムでの講演依頼を頂き、前職アマゾンが全社員にリーダーシップを発揮させる仕組みについてお話しさせていただきました。改めて説得・交渉・リーダーシップへの理解を深めるべく今回の大会にも参加させて頂き、まさに該当するテーマの発表、グループトークを興味深く拝聴させて頂きました。

前半の富山市コンパクトシティの成功要因に関する講演では、市長が住民のQOL向上というビジョンとその具体的な実現施策の元、長期間に渡り粘り強く住民・各ステークホルダーとの合意形成を行い実現していく過程をよく理解する事ができました。

また、リーダーが説明責任を超え、説得責任を果たす事を実現要因とする分析も印象的でした。正解と信じる事を唱えるだけでなく、周囲を巻き込みながら支持を広げるには、具体的なビジョンを示しやり遂げるまで周囲を説得・交渉し続けるグリット（やり遂げる力）が不可欠です。リーダーシップに不可欠なグリットに焦点を当てた素晴らしい分析に感銘を受けました。

後半の組織におけるダイバーシティに関するパネルトークでは、現場第一線で活躍されている女性パネリスト御二方から見ても、未だ日本企業ではダイバーシティを受け身で対応されており、競争力強化の基礎として最優先で取り組む企業課題とは程遠い現実がよく理解できました。同質性が高い組織（家族・会社等）では説得・交渉を省く事で、一見部分最適化を担っているダイバーシティ実現への弊害が多々あります。改めて自分自身のアンコンシャス・バイアスや認識不足への気付きを得ると共に、この問題における潜在的な説得・交渉の機会とそれが果たす重要性に気づかせられる良い機会を頂きました。

研究室紹介

深谷信介

(ノートルダム清心女子大学)

ノートルダム清心女子大学は、聖ジュリー・ピリアートによって1804年に設立されたフランスのナミュール・ノートルダム修道女会を設立母体としております。本学園の起原は1924年、修道会のアメリカ・ウォルサム管区から岡山に派遣され



た6名の修道女が、シヨファイユの幼きイエズス会から清心高等女学校の経営を引き継いだことに始まりました。現在、学園として幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・大学院を設置、大学は2学部6学科、大学院2研究科博士後期課程2専攻、修士・博士前期課程6専攻を設置しております。

また、5大陸にわたるナミュール・ノートルダム修道女会の教育ネットワークと繋がっており、そのネットワークを通じて、世界の動きが的確に理解でき、日本とそれぞれの国の双方向型のコミュニケーションを駆使して、キリスト教に根ざした豊かで多様に富んだ学びの体験が可能になっております。ありがたいことにおかげをもちまして、大学は地域に支えられながら、また、卒業生の尽力により、社会的に高い評価を得て順調な実りを結んでおり、ローカルの地に根ざしながらグローバルに羽ばたく全人教育を大切にする大学です。

弊研究室は、人間生活を学問的に分析し人間性に満ちた豊かな生活のあり方を探究していく人間生活学科経営経済学コース内に設置されており、マーケティングをコアの専門領域としております。弊職は、メーカー・シンクタンク・外資系エージェンシー・広告会社などの実務経験を経て、2021年4月本学に着任致しました。

あらゆる環境が目まぐるしく変化し、予測が難しい状態が続くイマを「VUCAの時代」と呼び久しく時が流れています。マーケティングが、社会が、資本主義が、今大きな変曲点に差し掛かっています。私たちは何を学び、何を維持しどう革新していけば良いのでしょうか？事象1つ1つ丁寧に全てを紡いでいくことで、次の社会の礎を築いていきたい。そこで弊研究室では”Beyond marketing”を掲げ、「マーケティング・ブランディング」「都市デザイン（まちづくり）・移動デザイン(モビリティ)・地域研究」「戦略論・デザイン学」の主要3領域を梃子に関連分野を横断しつつ、情報発信・商品/サービス開発から、事業創出・企業経営・行政政策アドバイス、そしてエリア開発・まちづくり・国づくりまでを実践研究領域として構えました。

純真で快活で感性溢れるゼミ生18名とともに、ここ岡山の地から「ジェンダー・レリジョン・リベラルアーツ」を抛り所に、新たな暮らしと社会の価値創造と構造化実践を、皆さんと一緒に考え創っていきたく、思っております。



理事会議事報告

- (1)開催年月日 2021年10月29日
(金) 11時~11時57分
- (2)開催方法 オンライン (zoom)
- (3)出欠 出席：理事7名 欠席：理事4名、監事1名

〈報告事項〉

- 第13回大会（2020年10月31日 田村次朗大会委員長）はオンラインにて無事終了した。
- 2. 第14回大会が、慶應義塾大学（田村次朗大会委員長）で開催されることが決定した。
- 3. 学会誌第12巻が刊行された。
- 4. 会報第12号が発行された。
- 5. 説得交渉フォーラムは、7月にオンラインにて開催した。
- 6. 役職・役員異動
 - ・新理事就任 隅田 浩司
- 7. 2021年度学会賞の選考について
 - ・学会賞選定
 - ・来年度以降へ向けて、選考へのご協力をお願い
- 8. 2020年度学会収支報告（別紙）
- 9. 入会者 3名（敬称略） 石崎 晴義、増田 尚之、小嶋 健嗣
- 10. 退会者 1名（敬称略） 小池 達哉

〈審議事項〉

- 2022年度第15回大会主催校 及び 大会委員長の確認
- 来年度の学会テーマの検討
- 会員数の増加のための方策について
- 会員メーリングリストへの移行

〈審議事項要旨〉

1. 2022年度第15回大会主催校 及び 大会委員長の確認について
→第15回大会主催校は慶應義塾大学、大会委員長は田村次朗
2. 来年度の学会テーマの検討について
→来年度テーマは「SDGs」とし、サブテーマは必要に応じて決める
3. 会員数の増加のための方策について
理事をはじめ、会員の皆様にもぜひ学会の良さを広めていただきたい。研究大会やフォーラムで発表をまずはお声掛けいただけると、そこから関心を持っていただけることもあるのでぜひ参考にしていただきたい。
4. 会員メーリングリストへの移行
現在の会員向けメールはBCCで送っているが、メーリングリストを使用する方向で決定。ただし、返信したが全面展開しないように確認が必要。

以上、

(議長 田村次朗)

学会賞

[論文賞]

渡邊理佐子「コロナ禍における垂直発達型リーダーシップ理論の意義」説得交渉学研究12号(2020)

[出版賞専門書部門]

該当者なし

[出版賞普及啓蒙書部門]



田村次朗＝隅田浩司共著『リーダーシップを鍛える「対話学」のすすめ』（東京書籍、2021年）

説得交渉学研究第13巻

「説得交渉学研究第13巻」が2021年12月に無事刊行されました。ご寄稿いただいた皆様、まことにありがとうございました。



役員名簿

会 長 田村 次朗
理 事 池田 正弘
理 事 小林 稔
理 事 柴田 純男
理 事 下村 正樹
理 事 杉田 一真
理 事 隅田 浩司
理 事 三苫 民雄
理 事 山川 悟
理 事 山下 史郎
理 事 渡邊 竜介

監 事 武井 涼子

日本説得交渉学会

The Japanese Society of Persuasion and Negotiation

会長 田村 次朗



連絡先 学会事務局 田上 由紀子／廣瀬翔太郎

E-mail: settokukousyougakkai@gmail.com

URL: <http://settoku-kousyou.world.cocan.jp/>